

閉塞性動脈硬化症(ASO)に対し LDL 吸着療法(LDL-A)を施行し良好な結果が得られた一例

上尾中央腎クリニック

○佐藤 典明、島崎 沙由香、太田 恵、渡邊 ますみ、遠藤 清文、吉江 祐

【目的】

ASO で下肢疼痛のある患者に対し、LDL-A を施行し、改善がみられたので報告する。

【症例】

75 歳男性、糖尿病なし、透析歴 2 年 3 カ月、Fontain 分類Ⅱ度

LDL-A は透析後に施行し、2クール目まで終了。

【方法】

LDL-A の治療効果を、下記の方法で評価した。

PAIN VISION (PV) にて透析前後と LDL-A 後の電流知覚閾値を毎回測定。

PAD3000 にて、クール開始時、治療中、治療後の皮膚灌流圧 (SPP) を測定。

【結果】

PV に関しては、透析後に値が悪化し LDL - A 後に透析前より値が良くなる傾向にあり、クール終了時には全体的に値が良くなっていた。

SPP にも改善がみられた。

【結語】

LDL-A 施行中は電流知覚閾値、SPP の改善がみられたが、治療休止後の両値は悪化していたので、治療を継続していき QOL の改善に努めていきたい。